

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	地球市民かながわプラザ		
所在地	横浜市栄区小菅ケ谷一丁目2番1号		
サイトURL	http://www.earthplaza.jp/		
根拠条例	神奈川県立地球市民かながわプラザ条例		
設置目的(設置時期)	子供の豊かな感性をはぐくむとともに、県民の国際的理解並びに国際平和及び地球的規模の課題への認識を深めることにより地域から行動する意識を高め、併せて国際交流活動及び国際協力活動を支援するための施設。(条例施行日：平成10年1月1日) (開館日：平成10年2月1日)		
指定管理者名	(公社)青年海外協力協会		
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	施設所管課	国際課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度及び収支状況はS評価となったため、3項目評価はS評価となった。</p> <p>提案に基づいて、展示学習事業・展示企画事業などの学習センター事業、ライブラリー事業・外国籍県民支援事業などの情報・相談センター事業、NPO等活動支援事業などのサポート・ネットワーク事業のプラザの3つの事業を適切に実施し、過去最高の423,009名の利用者数を記録した。また、施設の維持管理についても適切に行い、利用者から施設全体の印象について高い評価を得ている。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、学習センター事業などプラザの3つの事業実施に努め、過去最高の利用者数423,009名を記録する実績をあげた。維持管理業務も適切に実施しており、施設の全体的な印象について施設利用者から高い評価を得ている。</p> <p>◆利用状況 子どもから大人までを対象にした事業の企画や関連企画の実施、ホームページ・チラシ等による広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率107.1%となり、A評価となった。前年度対比では0.5%のプラスとなっており、利用状況は好調である。</p> <p>◆利用者の満足度 第3四半期に利用者満足度調査(詳細アンケート)を実施し、上位2段階の回答割合が99.5%となったためS評価となった。昨年度より回答数が増となったなか、高い評価を得られている。</p> <p>◆収支状況 好調な利用者数を理由として33,379千円の利用料金収入があった(前年対比104.3%)。支出については、当初予算比で光熱水費△7,637千円、保守点検・委託料△2,512千円、賃借料△2,286千円などとなっている。収支差額が24,482千円のプラス(収支比109.6%)となったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 保育室のマットにかかる指摘に対し、新規入替を行うなど、要望への迅速な対応を図り、サービスの着実な向上につなげている。</p> <p>◆事故・不祥事等 ファンタジー展示室にて、子どもどうしの衝突事故などがあったが、事故発生に際し、応急措置を講じるなど適切に対応し、県への報告も迅速に行っている。一義的には指定管理者に責任がある事故は起きていないが、事故後に注意喚起の案内板の設置や各部署への周知などに取り組んでいる。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 平成29年度の3項目評価についてはS評価とした。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成30年5月21日・22日 及び原則毎月第2木曜日	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(1) 学習センター事業</p> <p>A 展示学習事業</p> <p>子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく学べる充実したプログラムを提供。週末の利用人数が多い時間帯に、世界の遊び、言葉、衣装といった国際理解・国際協力をテーマとしたプログラムをプラザ職員と展示運営ボランティアによって実施。</p> <p>ファンタジー展示室では、地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるために、幼児を対象に合唱や音楽に合わせた体操、絵本の読み聞かせ等を行う。</p>	<p>事業計画に沿って、週1回以上開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみよう！世界の遊び、考えよう！世界の今等の展示学習プログラム計65回。 ・地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるため、未就学園児を対象にわらべ歌やリズム遊び、絵本の読み聞かせ、工作プログラム等のファンタジープログラム38回を実施した。 	<p>プラザの平成29年度の施設利用者数は423,009名と開館以来最高を記録した。指定管理者が子どもから大人までを対象によく事業を企画し、施設の管理運営を適切に行ったことの積み重ねによるものであると受け止めている。(以下の欄について同じ)</p>
<p>B 展示企画事業</p> <p>世界の伝統文化、環境、平和、地球規模の課題などに焦点を当て、楽しく学び、豊かな感性を育む企画展を開催。</p>	<p>年間を通じて5テーマ、会期延べ184日間(25,910名参加)の展示企画事業を実施。「キョウリュウたちと、あそぶへや」(来場4,483名)、「時間旅行展—TIME! TIME! TIME!」(来場4,942名)、「新・NIPPON展」(来場5,372名)などを実施した。</p>	
<p>C 映像ホール事業</p> <p>子どものための映画会を夏休み冬休みなど長期休暇を利用し継続的に行いつつ、更なる映像ソフトの充実を図りながら、校外学習や大人を対象に映像ライブラリー所蔵のビデオ・DVDを活用した事業を展開。</p>	<p>年間延べ159日上映(19,080名鑑賞)。月に1回から3回程度、週末の日中や祝日等に、開発途上国を題材に扱った作品や、環境や貧困など地球規模の課題をテーマにした映画を上映するアースシアター、高齢者をターゲットに名作映画を上映する月曜上映会、子どもたちの春夏冬休みのこども映画会、企画展に関連するテーマの作品の上映、校外学習受入れ時の作品上映を実施。</p>	

<p>D 交流交歓学習事業 小中学生から大人までを対象にした参加型ワークショップを実施。各テーマごとに年間4～6回のシリーズで事業展開。</p>	<p>交流交歓学習事業に参加する子どもたちが、地球市民の一人としての自覚に目覚めるようなワークショップ「世界の教室」・「世界の文化」を実施。在住外国人をゲストに招き、参加した子どもたちが相互交流を通じて互いの「共通点」と「違い」に気づき、相対的な世界観を養える内容とした。また、文化紹介プログラムとして、楽器や踊り、工作などのワークショップも実施した。年間12回(623名参加)</p>	
<p>E 地球市民学習事業 地球市民学習事業は、幅広い年齢層を対象に、世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身に付けること、又は目指すことを目的とする。県民のより広く且つ深い課題の理解につながるよう、工夫したプログラムを年に6回実施。開催中の企画展示の内容とも関連付けをし、展示とともに講演によって、より理解を深める取組を行う。</p>	<p>全国シンポジウム「地球市民トークセッション マイノリティから考える わたしの”ふつう” あなたの”ふつう”～LGBT×外国ルーツ×障がい～」やセミナー、講演会等を年間7回実施した(588名参加)。</p>	
<p>F ビエンナーレ国際児童画展開催 絵画を通じて、こどもたちの夢と創造力を育み、神奈川のこどもたちに世界を、世界の子どもたちに神奈川を紹介し、国際理解と国際交流の推進を図る。</p>	<p>第19回展の表彰及び展覧会開催 ・応募点数24,572点 (海外87ヶ国1地域21,411点、県内3,161点) ・表彰式 平成29年7月9日(日) 入賞519点(大賞:知事表彰3:海外2、県内1、総務大臣賞等特別賞50:海外37、県内13、入選466:海外350、県内116) ・展覧会 平成29年7月7日(金)～8月20日(日)来場者6,418名 ・巡回展 県内14箇所 ・作品等貸出 北海道他8箇所</p>	
<p>G 展示運営・展示ボランティアの運営 プラザの設立目的である「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の醸成」、「国際活動の支援」を達成するために常設展示室を良好に保ち、入館者へのサービスをボランティア活動等により充実させる。</p>	<p>常設展示室入館者(年間69,763名)に対する展示案内をはじめ、安全管理、展示室内の展示物の整理等を通して地球市民学習の場として活用される運営を行った。 その他、国際平和展示室の展示内容を補完する展示として、横浜大空襲を祈念した特別展示を実施。(平成29年5月27日(土)～8月31日(木)) ・展示ボランティア登録者数51名</p>	

<p>H 校外学習の受入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員等からの校外学習相談への対応 ・利用前後及び利用当日の学習指導案作り ・プラザ施設を活用した体験的な国際理解教育、平和教育プログラム等の実施等 ・学習資料等の作成など受入れ促進の実施 ・海外の途上国で活動した青年海外協力隊ボランティア体験談や国際理解等に関わるワークショップの実施提案。 	<p>次代を担う子どもたちに世界の多様な文化、地球的規模の課題などへの認識を深めてもらうため、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校等からの校外学習の受け入れを行った。</p> <p>年間総計196校 7,754名</p>	
<p>I その他、提案事業</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>①神奈川県環境保全への理解の促進</p> <p>②国際理解教育出前講座</p> <p>イ その他、館内実施事業等</p> <p>①館内インフォメーションツアー</p> <p>②仮装deハロウィンキドキスタンプラリー</p> <p>③キャンドルナイトinあーすぷらざ</p>	<p>I その他、提案事業</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>①かながわ水源の森林づくり定着型ボランティア事業連携</p> <p>松田町で森林保全・環境保全についての理解を促進するための森林体験プログラム等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月15日（日）参加10名 <p>②「あーすぷらざ出前講座」</p> <p>プラザ訪問が難しい県内等の学校等への出前講座。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6件 642名参加 <p>イ その他、館内実施事業等</p> <p>①館内インフォメーションツアー</p> <p>隔週で月2回土日にプラザの案内を実施。国際理解や多文化理解につなげる。(800名参加)</p> <p>②仮装deハロウィンキドキスタンプラリー2017</p> <p>ハロウィンに合わせて、仮装パレードなどを実施。地域との交流の機会にもなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月29日（日）786名参加 <p>③キャンドルナイト in あーすぷらざ 2017</p> <p>キャンドルを見つめながら、平和などを思う静かな時間を過ごすイベントを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月12日（日）802名参加 <p>④みどりのカーテン大作戦 in あーすぷらざ</p> <p>温暖化対策として実施。成長過程を報告するとともに、収穫物でのイベントなども実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年5月7、28日（日） 延べ35名参加 	

<p>J インターンシップ／教員研修事業 プラザ事業に対する理解を深めてもらうため、高校生・大学生のインターンを受け入れ、職場体験の機会を提供する。</p>	<p>J インターンシップ／教員研修事業 ①インターンシップ 中学校：4校（13名）、高校1校（3名）、大学：1校（2名） ②教員研修 県立横浜立野高等学校ほか4校（5名）</p>	
<p>（2）情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 大人が地球市民意識を醸成し、多文化共生及び国際交流・協力活動を学ぶための図書や映像などの資料を揃えると共に、子どもが絵本や雑誌及び映像に親しむために工夫を加えたライブラリー運営を行う。</p>	<p>（2）情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 ・映像ライブラリー利用者数 41,591名 ・図書の収集・貸出 蔵書数 42,811冊 貸出登録者数 18,531名 館外貸出数 11,322点 ・ビデオ・DVDの収集・視聴サービスの提供 所蔵数 2,369点 視聴本数 5,582本 視聴利用者数 7,257名 ・こどもコーナー 子ども向けに多言語読み聞かせなど 計17回 580名参加</p>	
<p>B 外国籍県民支援事業 これまでの事業運営を基本に、他の支援団体、民間団体との連携を十分に図り事業運営を行う。また、外国人住民の支援につながるような自主事業、共催事業を企画し実施。</p>	<p>B 外国籍県民支援事業 ・外国籍県民支援のための情報収集整理 ・外国籍県民相談事業（一般・法律） 【相談窓口事業（3箇所、6言語）】 相談件数：一般1,173件（3箇所うち法律136件2箇所） 相談機関連絡会1回開催 県内の相談員対象の研修会5回開催（受講者177名） ・外国籍県民相談（教育） 【相談窓口事業（1箇所、やさしい日本語を含む5言語）】 相談件数1,533件（1箇所） ・総合的な日本語学習等支援センター事業 教材・情報の収集、提供等 フィールドワーク受入事業（9回実施 参加177名） アウトリーチ支援活動（出前講座2回開催 参加105名） 日本語学習支援等の団体ネットワーク 日本語教育支援者間のネットワークの構築と定評がある日本語関連教材および資料の展示・販売機会の提供として「日本語学習・支援者のための集い」を実施。平成29年11月4日（土）～5日（日）参加者数221名</p>	

<p>C 広報・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ施設案内、各種事業や地球市民学習に役立つ情報を掲載した広報物の発行など（年3回機関紙発行、月2回程度のメルマガ、催し物の案内やチラシなどの作成及び配布）。 ・ホームページ運営など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス数年間434,186件 ・新聞、タウン誌等広報掲載185回 ・プラザ壁新聞(機関紙)年3回発行(A2判 3,500部/回) ・催事案内チラシ(月1回4,500～5,000部、館内用ポスターほか) ・広告(かながわ県民センター広告スペースへのポスター掲示、WEB広告) ・メールマガジン(月1回、読者数152名) 	
<p>(3)サポート・ネットワーク事業</p> <p>A NPO等活動支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等が実施する企画・事業をサポートし、プラザの設立趣意に合致する事業に対し、活動場所の提供や広報・PR等を支援。 共催事業(12件 参加7,403名)、「あーすフェスタかながわ」運営参画など ・NPO等専用の打合せ等のための無料スペースの提供 情報フォーラムスペース登録34団体(7,975名利用) 	
<p>B NPO等のための事務室運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体の活動状況の把握 ・利用団体の活動支援 ・新たな公募および選考 	<p>非営利で公益的な活動、とりわけ国際協力、国際交流、多文化共生を育むことを主な目的とした活動をする団体に、活動の場(共同の事務所スペース)を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居8団体(事務室利用日数323日、利用1,739名) ・新規募集 ・入居希望者の選考委員会の開催など 	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>社会や世界で活躍できる人材を育成するという横浜市栄区「国際都市さかえ事業」との共催</p> <p>①栄区内学校等への出前講座</p> <p>②フォーラム開催</p>	<p>①学校等が希望する国やテーマに沿った出前講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立横浜栄高等学校他9箇所 <p>②「栄区×インバウンドフォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年12月10日(日)参加人数86名

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	403,392	421,094	423,009
対前年度比		104.4%	100.5%
目標値	385,000	390,000	395,000
目標達成率	104.8%	108.0%	107.1%

目標値の設定根拠： かながわグランドデザイン

利用者数の算出方法（対象）：	常設展示室観覧券発券枚数、貸出施設利用申込人数（貸出施設のうち映像ホール等を事業で利用する場合は入場者数）、図書・映像資料貸出等処理件数、フォーラム等定点観測（4～6回/日）、NPO等のための事務室（利用簿の利用者数）。
----------------	--

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	第3四半期に実施。来館者や事業参加者にアンケート用紙を配布。	概ね高い評価を得ている。指定管理者が子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とする事業実施に配慮したことや適切な施設の管理運営に努めたことが評価されたものと思われる。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 あーすぷらぎ全体の印象

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者、直接配布 回収数/配布数 612 / =

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	とても良い	良い	悪い	大変悪い	合計	とても良い、大変悪いに回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	290	289	2	1	582	とても良い：子供の楽しめるイベントがたくさんある。※大変悪いについては、回答理由の記載なし
回答率	49.8%	49.7%	0.3%	0.2%		
前年度の回答数	225	193	1	0	419	
前年度回答率	53.7%	46.1%	0.2%			
回答率の対前年度比	92.8%	107.8%	144.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概 ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが 生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	268,595	20,857	1,024	物品販売 268 バナー広 告等収入 756	290,476	290,476	0	
	決算	268,595	30,931	522	物品販売 等522	300,048	286,381	13,667	104.8%
前年度	当初予算	246,860	28,392	700	物品販売 450 映画上映 200 有料ワー クショッ プ50	275,952	275,952	0	
	決算	246,860	31,992	1,423	物品販売 1213 映画上映 60 出前講座 149など	280,275	250,975	29,300	111.7%
29年度	当初予算	244,981	28,392	700	物品販売 450 映画上映 200 有料ワー クショッ プ50	274,073	274,073	0	
	決算	244,981	33,379	1,274	物品販売 719 出前講座 75 有料企画 展480	279,634	255,152	24,482	109.6%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
29年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<p><備考></p> <p>(平成29年度の当初予算と決算額の支出について)</p> <p>光熱水費△7,637千円(電気基本料金の減額など)、保守点検・委託料△2,512千円(委託料の減)、賃借料△2,286千円(再リース契約による減)など</p>
--

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	簡易アンケート	3 件	①プラザホール階段の手すり設置 ②ファンタジー展示室の0歳児を遊ばせる場所や託児所の設置 ③保育室マットの色落ちの指摘	①プラザホールの床は可動式のため、手すり設置は構造上困難であるが、特にシアター等会場内が暗い時は案内スタッフを増員し、席に案内する等安全に十分配慮し運営。 ②展示室に0歳児の遊び場所や託児所の新設は困難。希望者には保育室（有料）や無料ベビーカーの貸出しの案内を実施。 ③定期的及び使用後には必ずマットの水拭き清掃を行っており色落ちについても確認出来なかったが、老朽化も考えられるため、新規マットを購入。
		件		
職員対応	簡易アンケート	0 件		
		件		
事業内容	簡易アンケート	0 件		
		件		
その他	簡易アンケート	0 件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
5月13日	①5階こどもファンタジー展示室で子どもどうしがぶつかり、一方の子どもの歯がもう一方の子どもの額にぶつかり、額に怪我した。止血消毒の対応後、保護者により医療機関で治療（2針縫合）を受けた。 ②報告書及び電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③ファンタジー展示室の入場者数が多い場合は、職員を配置し、保護者や引率者へ「子どもを走らせないように」「他の子ども達にも気を配るように」など安全配慮の声掛けを行うようにした。 ④～⑥該当無
7月19日	①5階こどもファンタジー展示室の「みえるかなのくに」（暗闇体験コーナー）で、走ってきた子どもが別の子どものぶつかった。ぶつかられた子どもは、壁に手をつくなどの一連の動作の中で、負荷がかかった結果、左ひじを痛めたため、冷却材を提供し、対応した。後日、保護者に経過を確認したところ、帰宅後に左ひじが大きく腫れたため、救急にて医療機関で骨折の治療を受けたとのこと。 ②報告書及び電話にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③子ども向けに「走らないこと」「小さな子に気をつけて遊ぶこと」、大人（保護者・引率者）向けには「子どもと一緒に遊び、みんなで子どもを見守ること」「熱中症に気をつけて、子どもに水分をしっかりと取らせること」「飲食は所定の場所」という『みんなのルール』を設定し、7月28日、ファンタジー展示室の入口に案内板を設置した。 ④～⑥該当無
9月21日	①2階映像ライブラリーにて床に仰向けで寝ている利用者がいた。問いかけに意識はあったが、処方薬の服用もあったことから、病院に搬送。 ②報告書にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③～⑥指定管理者の責によるものでないため、該当無
12月12日	①1階ラウンジ閉室時、ブラインド（ロールカーテン）の落書きを警備員が発見し、翌朝、指定管理者に報告。 ②報告書にて状況詳細を把握。下記③の対応を既に指定管理者が開始していたため、指導など特別な対応なし。 ③施設内に「落書きは犯罪です！」という掲示をするとともに、警備強化を実施。落書きされたロールカーテンは洗浄対応で解消できなかったため、布部分を修繕した。 ④～⑥指定管理者の責によるものでないため、該当無
2月12日	①5階こどもファンタジー展示室のトランポリンで子どもが足首を痛めたため、患部を冷やすなど応急処置をした。 ②報告書にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③保護者が病院に連れて行った結果、捻挫であった。 ④～⑥指定管理者の責によるものでないため、該当無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。